【 単 独 事 業 】

§1. 開 削 工 法

1-1　数　量　総　括　表

数量総括表（1工区）

単独事業

工　　種	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　要
φ200㎜管布設工	区間延長		m	93.60	
	掘削工	機械掘削	m^3	222.70	
		人力掘削	〃		
	埋戻工	砕石(RC-40)	〃	126.31	
		流用土	〃		
	砂基礎工		〃	41.52	
	残土処分工		〃	222.70	
	管布設工	VUφ200	m	91.80	
	硬質塩化ビニール管	直　管VUφ200	本	23.0	
	土留め工	アルミ矢板 H=2.00m 1段梁	m		
		アルミ矢板 H=2.50m 1段梁	m		
		アルミ矢板 H=2.50m 2段梁	m		
		アルミ矢板 H=3.00m 2段梁	m	46.80	
		アルミ矢板 H=3.50m 2段梁	m	46.80	
		アルミ矢板 H=4.00m 2段梁	m		

数量総括表

単独事業

工　　種	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　要
ﾏﾝﾎｰﾙ設置工	２号組立		箇所		
	１号組立	平均MH=2.16m	箇所	2	
	楕円人孔		箇所		
	小口径塩ビ		箇所		
副管設置工	内副管	副管落差=1.299m φ200×150㎜	箇所	1	
	内副管	副管落差=2.364m φ150×150㎜	箇所	1	
	外副管		箇所		
汚水桝設置工	設置箇所数	200ﾏﾙﾁｲﾝﾊﾞｰﾄ	箇所		
	設置箇所数	300ﾏﾙﾁｲﾝﾊﾞｰﾄ	箇所	3	
	設置箇所数	ﾄﾞﾛｯﾌﾟｲﾝﾊﾞｰﾄ	箇所		

数量総括表

単独事業

工　　種	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　要
1号組立ﾏﾝﾎｰﾙ	底版ﾌﾞﾛｯｸ	P	個		
		PB	〃	2	
	躯体ﾌﾞﾛｯｸ	900×600	〃	－	
		900×900	〃	－	
		900×1200	〃	1	
		900×1500	〃	－	
		900×1800	〃	1	
	直壁ﾌﾞﾛｯｸ	900×300	〃	－	
		900×600	〃	－	
		900×900	〃	－	
		900×1200	〃	－	
		900×1500	〃	－	
		900×1800	〃	－	
	斜壁ﾌﾞﾛｯｸ	600×900×300	〃	－	
		600×900×450	〃	1	
		600×900×600	〃	1	
		床版ﾌﾞﾛｯｸ	〃	－	

数量総括表

単独事業

工　　種	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　要
1号組立ﾏﾝﾎｰﾙ	調整ﾘﾝｸﾞ	600×50	個	－	
		600×100	〃	1	
		600×150	〃	1	
	ハイジャスター	平均高=64mm	袋	2	
	鉄　蓋	T-25	組	2	
		T-14	〃	－	
	可とう性継手	推進用	個	－	
		貼付型φ200	〃	4	
		貼付型φ150	〃	1	
	削　孔	φ250	箇所	－	
		φ200	〃	2	
		φ150	〃	－	
		φ100	〃	－	
	底部工	VUφ200 基礎砕石あり	箇所	2	
		VUφ200 インバートのみ改修	〃	1	既設ﾏﾝﾎｰﾙ

数量総括表

単独事業

工　　種	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　要
φ300mm 塩ﾋﾞﾏﾝﾎｰﾙ設置	立ち上げ管		本	－	
	自在継手	φ200	個	－	
	塩ビ支管	φ200	〃	－	
		φ150	〃	－	
	異径ソケット	200×150	〃	－	
	キャップ	φ200	〃	－	
	保護鉄蓋	T-14	〃	－	
	沈下防止板		〃	－	
	内蓋		〃	－	
	インバート	起点	〃	－	
		ストレート	〃	－	
		ドロップ	〃	－	
		マルチ	〃	－	

数量総括表

単独事業

工　　種	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　要
汚水桝設置工	設置箇所数		箇所	3	人孔取1箇所
	平均掘削長		m	－	取付管推進にて計上
	平均管布設長		〃	－	
	ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管	VUφ150	本	－	
	自在支管	VUφ150	個	2	
	自在曲管	VUφ150	〃	2	
	200ﾏﾙﾁｲﾝﾊﾞｰﾄ		〃	－	
	300ﾏﾙﾁｲﾝﾊﾞｰﾄ	H=2000	〃	3	
	ﾄﾞﾛｯﾌﾟｲﾝﾊﾞｰﾄ		〃	－	
	桝蓋	直接型 200ミカゲ	個	－	
		直接型 200鋳鉄	〃	－	
		直接型 300ミカゲ	〃	－	
		直接型 300鋳鉄	〃	3	
		ハット型鋳鉄蓋	〃	－	

数量総括表
県道・車道5-5-12-20-25　　単独事業

工　種	種　別	規　格	単位	数　量	摘　要
舗　装　工	舗装切断工				
		As t=10cm	m	287.9	
	舗装取壊工				
		仮復旧部 As t=5cm	m²	87.9	
		本管開削部+影響部 As t=10cm	m²	229.8	
		切削オーバーレイ As t=5cm	m²	287.4	
	仮復旧工				
		表層 粗粒As t=5cm	m²	87.9	
		上層路盤 粒調(RM-30) t=10cm	m²	87.9	
		下層路盤 砕石(RC-40) t=52cm	m²	87.9	
	第1回本復旧工				
		表層 粗粒As t=5cm	m²	229.0	
		基層 粗粒As t=5cm	m²	229.0	
		上層路盤 瀝青安定処理 t=12cm	m²	229.0	
		上層路盤 粒調(RM-30) t=20cm	m²	229.0	
		下層路盤 砕石(RC-40) t=25cm	m²	229.0	
	第2回本復旧工				
		表層 切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ 密粒As t=5cm	m²	287.4	

数量総括表
単独事業

工　種	種　別	規　格	単位	数　量	摘　要
舗　装　工	舗装殻処分工				
		破砕積込　As殻	m³	27.4	
		切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　As殻	m³	14.4	
	土　工				
		路盤掘削	m³	134.9	
	残土 運搬処理工				
		路盤材	m³	134.9	
	路面標示工	溶融式			
		外側線 白色 実線　W=15cm	m	95.9	
		車線境界線 白色 破線W=15cm@5000	m	45.4	

数量総括表

単独事業

工　　種	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　要
家屋調査工					
	外柵		件	1	
	概査A		件	1	
	概査B		件	-	
	精査		件	-	

数量総括表

工　　種	種　　別	規　　格	単位	数　量	摘　要

1-2　管　布　設　工

VUφ200mm

下 水 管 渠 築 造 工 事 土 量 計 算 書

単独事業

人 孔 番 号	人孔間 延 長	管路工 掘削深	管 減 長 控除１	控除２	平 均 掘削深(H)	掘削幅 0.95,0.85	H-0.10 掘削量	残土量	H-埋戻控除 埋戻量	路 盤 延 長	路盤工	舗装種別	土 留 工 矢板長	支保工	掘削深	管延長	管本数
既設 No.0 ～ No.1	46.80	3.079 2.617	0.450	0.450	2.848	0.950	122.18	122.18	H-1.184 73.98	46.80	44.46	県道 As10-12-45	ℓ=3.50 46.80	2 段 46.80	H≦3.0 46.80	W=0.95 45.90	11.5
No.1 ～ No.2	46.80	2.597 2.124	0.450	0.450	2.361	0.950	100.52	100.52	H-1.184 52.33	46.80	44.46	県道 As10-12-45	ℓ=3.00 46.80	2 段 46.80	H≦2.5 46.80	W=0.95 45.90	11.5
計	93.60						222.70	222.70	126.31	93.60	88.92	砂基礎 41.52m3				W=0.95 91.80	23.0
県道(車道)10-12-45	93.60												ℓ=3.00 46.80	支保工2段 93.60	H≦2.5 46.80	W=0.85	
													ℓ=3.50 46.80		H≦3.0 46.80		

VUφ200mm

下 水 管 渠 築 造 工 事 土 量 計 算 書

単独事業

人孔番号	土留め延長					掘削土量					埋め戻し					管布設延長				
	アルミ矢板延長					アルミ矢板					アルミ矢板					アルミ矢板				
	ℓ=1.50	ℓ=2.00	ℓ=2.50	ℓ=3.00	ℓ=3.50	ℓ=1.50	ℓ=2.00	ℓ=2.50	ℓ=3.00	ℓ=3.50	ℓ=1.50	ℓ=2.00	ℓ=2.50	ℓ=3.00	ℓ=3.50	ℓ=1.50	ℓ=2.00	ℓ=2.50	ℓ=3.00	ℓ=3.50
既設 No.0 ～ No.1					46.80					122.18					73.98					45.90
No.1 ～ No.2				46.80					100.52					52.33					45.90	
																			0.4523	0.4523
																砂基礎	砂基礎	砂基礎	砂基礎 20.76	砂基礎 20.76
計				46.80	46.80				100.52	122.18				52.33	73.98				45.90	45.90

1-3組立１号マンホール設置工

No.

1号組立マンホール集計表

工種	規格	既設No.0	No.1	No.2			単位	合計
人孔諸元	人孔深	(4.171)	2.410	1.917			m	(N= 2) 平均 2.16
調整工	ハイジャスター	-	60 1	67 1			袋	平均 64mm 2
蓋＋受け枠	T-25	-	1	1			組	2
	T-14	-	-	-			組	-
調整リング	H=50	-	-	-			個	-
	H=100	-	-	1			個	1
	H=150	-	1	-			個	1
斜壁ブロック	600×900 H=300	-	-	-			個	-
	600×900 H=450	-	1	-			個	1
	600×900 H=600	-	-	1			個	1
床版ブロック	600×900 H=600	-	-	-			個	-
直壁ブロック(Ⅰ種)	900×900 H=300	-	-	-			個	-
	900×900 H=600	-	-	-			個	-
	900×900 H=900	-	-	-			個	-
	900×900 H=1200	-	-	-			個	-
	900×900 H=1500	-	-	-			個	-
	900×900 H=1800	-	-	-			個	-
躯体ブロック(Ⅰ種)	900×900 H=600	-	-	-			個	-
	900×900 H=900	-	-	-			個	-
	900×900 H=1200	-	-	1			個	1
	900×900 H=1500	-	-	-			個	-
	900×900 H=1800	-	1	-			個	1
底版ブロック	H=130	-	1	1			個	2
可とう性継手	推進用 φ200	-	-	-			個	-
	貼付型 φ200	1	2	1			個	4
	貼付型 φ150	-	-	1			個	1
削孔工	φ250	-	-	1			箇所	1
	φ200	1	1	-			箇所	2
	φ150	-	-	-			箇所	-
	φ100	-	-	-			箇所	-
底部工	1号組立マンホール	インバートのみ 1	基礎砕石有り 1	基礎砕石有り 1			箇所	3

（1号マンホール）

マンホール計算書

単独事業

記号 マンホール番号	マンホール深 mm	流出管 管種 管底高 m	流入管 径 mm	流入管 管種	流入管 管底高 m	流入管 落差 m	流入管 角度 度	副管 径 mm	副管 管種	副管 落差 m	副管 角度 度	調整高 mm	角度の略図	ブロック類 底版 P 個	底版 PB 個	躯体ブロック M1B 60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	直壁 M1S 30 個	60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	斜壁 M1T 30 個	45 個	60 個	TP 個	調整リング MR 5 個	10 個	15 個	無モルタル収縮 袋	蓋受枠 120 個	可とう性継手 推進用 φ150 個	推進用 φ200 個	貼付型 φ150 個	貼付型 φ200 個	削孔 φ150 箇所	φ200 箇所	φ250 箇所
既設 No.0	4,171	VU200 45.808	150	VU	48.172	2.364	102	100	VU	2.364	102		↑○←																										1		1	
			200	VU	47.107	1.299	180	150	VU	1.299	180		↑																													
No.1	2,410	VU200 47.341	200	VU	47.361	0.020	180					60	↑○↑		1					1								1						1	1	25T				2		1	
No.2	1,917	VU200 47.595	150	VU	47.645	0.050	105					67	↑○←		1			1											1				1		1	25T			1	1			1
													↑○																													
													↑○																													
													↑○																													
													↑○																													
													↑○																													
													↑○																													
小計															2			1		1								1	1			1	1	2	25T-2			1	4		2	1
合計															2			1		1								1	1			1	1	2	25T-2			1	4		2	1

底部工	既設	1箇所
	新設	2箇所

注記：既設底部工は、インバートのみ改修を行う。

1-4　副　管　設　置　工

No.

副 管 設 置 工 集 計 表

工種	規格	既設No.0	既設No.0					単位	数量
副管落差		本管用 1.299	取付管用 2.364					m	(N= 2) 平均 1.83
スリム片受直管	φ200mm							本	–
	φ150mm	0.47	1.03					本	1.50
	φ100mm							本	–
貼付型スリム内副管用 マンホール継手	組立2号用 φ250×200mm							本	–
	組立2号用 φ200×150mm							本	–
	組立2号用 φ150×100mm							本	–
	組立1号用 φ250×200mm							本	–
	組立1号用 φ200×150mm	1						本	1
	組立1号用 φ150×150mm		1					本	1
貼付型マンホール継手	組立楕円用 φ150×100mm							本	–
スリム90度曲管	φ200mm							本	–
	φ150mm	1	1					本	2
	φ100mm							本	–
90度支管	φ100mm							本	–
カラー	φ200mm							本	–
	φ150mm							本	–
	φ100mm							本	–
スリム縦管止金具	φ200mm							箇所	–
	φ150mm	2	2					箇所	4
	φ100mm							箇所	–
踊り場削孔	φ200mm							箇所	–
	φ150mm							箇所	–
	φ100mm							箇所	–
砂埋戻し	砂基礎							m3	–
既設内副管撤去	φ150mm							m	–
	φ100mm		2.36					m	2.4

副　管　材　料　集　計　表

単独事業

既設No.0マンホール　内副管（本管φ200　H＝1.299m ）

名　　称	規　　格	数　量	単　位
スリム片受直管	φ150mm　（ 1.299 － 0.355 ）/2.0	0.47	本
	落差内のStep:S　0.050　タイプ　A		
貼付型スリム内副管用 マンホール継手	組立1号用 φ200×φ150mm	1	本
スリム９０度曲管	φ150mm	1	本
カラー	φ150mm		本
スリム縦管止金具	φ150mm	2	ヶ所
踊り場削孔	φ150mm		ヶ所

既設No.0マンホール　内副管（取付管φ150　H＝2.364m ）

単独事業

名　　称	規　　格	数　量	単　位
スリム片受直管	φ150mm　（ 2.364 － 0.311 ）/2.0	1.03	本
	落差内のStep:S　0.050　タイプ　A		
貼付型スリム内副管用 マンホール継手	組立1号用 φ150×φ150mm	1	本
スリム９０度曲管	φ150mm	1	本
カラー	φ150mm	1	本
スリム縦管止金具	φ150mm	2	ヶ所
踊り場削孔	φ150mm		ヶ所
既設内副管撤去	φ100mm　2.364	2.36	m

1-5 汚 水 桝 及 び 取 付 管 工

No.

汚 水 桝 集 計 表

工種	規格		単位	合計
設置箇所数			個	3
平均掘削長		取付管推進にて計上	m	–
平均管布設長		同上	m	–
プレーンエンド直管	VU φ150	同上	本	–
自在支管	φ150		個	2
自在曲管	φ150		個	2
200ﾏﾙﾁｲﾝﾊﾞｰﾄ			個	–
300ﾏﾙﾁｲﾝﾊﾞｰﾄ	H=2000		個	3
ﾄﾞﾛｯﾌﾟｲﾝﾊﾞｰﾄ			個	–
桝蓋	直接型 200ﾐｶｹﾞ		個	–
	直接型 200鋳鉄		個	–
	直接型 300ﾐｶｹﾞ		個	–
	直接型 300鋳鉄		個	3
	ハット型鋳鉄蓋		個	–

汚　水　桝　数　量　計　算　表

単独事業

号線	人 孔 No.	桝番号 世帯者名 (現況)	塩ビ桝 (種別)	中 心 延 長	自在 支管	自在 曲管	管径	汚水桝 深	掘削深	汚水桝種類 200ﾏﾙﾁ ｲﾝﾊﾞｰﾄ	300ﾏﾙﾁ ｲﾝﾊﾞｰﾄ	ﾄﾞﾛｯﾌﾟ ｲﾝﾊﾞｰﾄ	駐車場 区　分	蓋 直接型 200 ﾐｶｹﾞ	直接型 300 ﾐｶｹﾞ	直接型 300 鋳鉄	ﾊｯﾄ型 鋳鉄	備　考
			㎜	m	個	個	㎜	m	m	個	個	個	1を入力	個	個	個	個	個	
32-gfa	No.1 ～ No.2	1 いっぽの会	300		1	1	150	2.00			1		1				1		取付管推進
32-gfa	No.1 ～ No.2	2 いっぽの会	300		1	1	150	2.00			1		1				1		取付管推進
32-gfa	No.1 ～ No.2	3 ㈱アーキーテクノ	300				150	2.00			1		1				1		取付管推進 人孔取
	注記：取付管土工は全て取付管推進工で計上する。																		
		小　計			2	2					3						3		
		合　計			2	2					3						3		

1-6　舗　　装　　工

No.

舗 装 工 集 計 表

（県道・車道5-5-12-20-25）

工種	規格	本管開削時	本管開削部 仮復旧	第1回 本復旧	第2回 本復旧	単位	合計
舗装切断	As t=10cm	187.2		100.7		m	287.9
舗装仮復旧 表 層	粗粒度As t=5cm		87.9			m^2	87.9
上層路盤	再生粒調砕石(RM-30) t=10cm		87.9			m^2	87.9
下層路盤	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-40) t=52cm		87.9			m^2	87.9
第1回 舗装本復旧 表 層	粗粒度As t=5cm			229.0		m^2	229.0
基 層	粗粒度As t=5cm			229.0		m^2	229.0
上層路盤	瀝青安定処理 t=12cm			229.0		m^2	229.0
上層路盤	再生粒調砕石(RM-30) t=20cm			229.0		m^2	229.0
下層路盤	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC-40) t=25cm			229.0		m^2	229.0
第2回 舗装本復旧 表 層	切削オバーレイ 密粒度As t=5cm				287.4	m^2	287.4
舗装版破砕積込	As t=5cm			87.9		m^2	87.9
	As t=10cm	88.7		141.1		m^2	229.8
合計	As t=15cm以下					m^2	317.7
	切削オバーレイ As t=5cm				287.4	m^2	287.4
舗装殻処分	As t=5cm	8.9		4.4		m^3	13.3
	As t=10cm			14.1		m^3	14.1
小計						m^3	27.4
	切削オバーレイ As t=5cm				14.4	m^3	14.4
合計						m^3	41.8
土 工 路盤掘削	瀝青安定処理 t=12cm			16.9		m^3	16.9
	粒調砕石(RM-30) t=10cm・20cm			37.0		m^3	37.0
	砕石(RC-40) t=25cm			81.0		m^3	81.0
合計						m^3	134.9
残土運搬処理 残土運搬処理	路盤材			134.9		m^3	134.9

No.

路 面 標 示 工 集 計 表

（県道）

工種	規格	本管開削時	本管開削部 仮復旧	第1回 本復旧	第2回 本復旧	単位	合計
路面標示	溶融式						
外側線	白色・実線 W=15cm				95.9	m	95.9
車線境界線	白色・破線 W=15cm @5000				45.4	m	45.4

舗　装　工　計　算　書 (1)　　(県道・車道　5-5-12-20-25)

単独事業

種　　別	形状寸法	計　　算　　式	単位	数　　量
＜　舗　装　切　断　＞				
本管開削時	As t=10cm	開削土量計算書より 93.60 ×　　2	m	187.2
第1回 本復旧時	As t=10cm	舗装復旧平面図・求積図より 95.90 ＋　　2.60 ＋　　2.20	m	100.7
	合　計		m	287.9
＜　本管開削部　仮復旧工　＞				
本管開削時	As t=5cm	開削土量計算書より 93.60 ×　　0.950 －　　0.53 ×　　2ヶ所	m^2	87.9
	上層(RM-30) t=10cm	同上	m^2	87.9
	下層(RC-40) t=52cm	同上	m^2	87.9
	合　計		m^2	87.9
＜　第1回　本復旧工　＞				
表層工 (粗粒度As)	t=5cm	舗装復旧平面図・求積図より 230.6 －　　0.53 ×　　3ヶ所	m^2	229.0
基層工 (粗粒度As)	t=5cm	同上	m^2	229.0
上層路盤工 (瀝青安定処理)	t=12cm	同上	m^2	229.0
上層路盤工 (RM-30)	t=20cm	同上	m^2	229.0
下層路盤工 (RC-40)	t=25cm	同上	m^2	229.0
	合　計		m^2	229.0
＜　第2回　本復旧工　＞				
切削オーバーレイ 表層(密粒度As)	t=5cm	舗装復旧平面図・求積図より 289.0 －　　0.53 ×　　3ヶ所	m^2	287.4
＜　舗装版破砕積込　＞				
本管開削時	As t=10cm	開削土量計算書より 93.60 ×　　0.950 －　　0.53 ×　0.5ヶ所	m^2	88.7
第1回本復旧時	As t=5cm As t=10cm	87.9　　(仮復旧部) 229.0 －　　87.9　　(影響部)	m^2	87.9 141.1
第2回本復旧時	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ As t=5cm	287.4	m^2	287.4
	合　計		m^2	605.1
＜　舗装殻処分工　＞				
本管開削時	t=10cm	88.7 ×　　0.10	m^3	8.9
第1回本復旧時	t=5cm t=10cm	87.9 ×　　0.05 141.1 ×　　0.10	m^3	4.4 14.1
第2回本復旧時	切削ｵｰﾊﾞｰﾚｲ As t=5cm	287.4 ×　　0.05	m^3	14.4
	合　計		m^3	41.8

舗　装　工　計　算　書 (2)　　(県道・車道　5-5-12-20-25)

単独事業

種　　別	形状寸法	計　　算　　式	単位	数　　量
＜　土工　路盤掘削　＞				
本管開削時		開削土量計算書により計上	m^3	
第1回本復旧時 路盤掘削	路盤(瀝青安定)	影響範囲部 141.1 ×　0.12	m^3	16.9
同上	路盤(RM-30)	本管開削仮復旧部　　影響範囲部 (87.9 ×　0.10 ＋　141.1 ×　0.20)	m^3	37.0
同上	路盤(RC-40)	本管開削仮復旧部　　影響範囲部 (87.9 ×　0.52 ＋　141.1 ×　0.25)	m^3	81.0
	合　計		m^3	134.9
＜　残土運搬処理工　＞				
残土運搬処理	路盤材	134.9	m^3	134.9

路面標示工数量計算書

県道
単独事業

種　　別	形状寸法	計　　算　　式	単位	数　　量
路面標示工	溶融式			
外側線	白色・実線 W=15cm	舗装復旧平面図・求積図より 95.9	m	95.9
車線境界線	白色・破線 W=15cm･@5000	舗装復旧平面図・求積図より 45.4	m	45.4

1-7　家　屋　調　査　工

家屋調査調書

単独事業

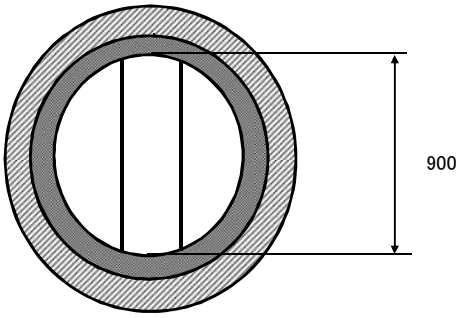
番号	測点	氏名	外柵	概査A	概査B	精査	備考
	No.1 ～ No.2	いっぽの会 取付管		1			桝番号 2
	No.1 ～ No.2	㈱ｱｰｷｰﾃｸﾉ 取付管	1				桝番号 3
計			1	1			

1-8　積　　算　　資　　料

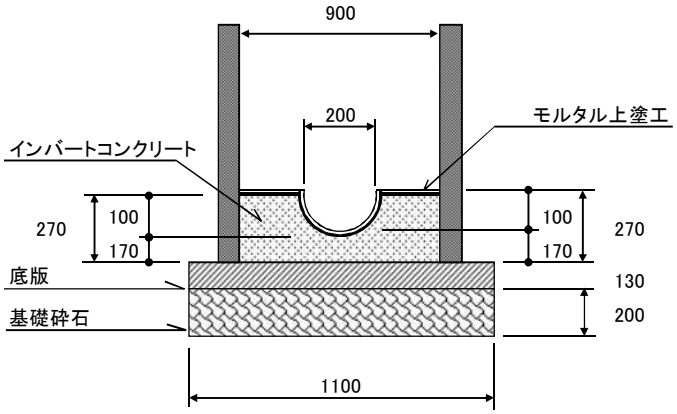
数　量　計　算　書（参考）

1号組立人孔底部工

名　称:　　1号組立人孔底部工



VUφ200



1箇所 当り

工　種	算　　式	単位	数　量
インバートコンクリート	$0.90^2 \times \pi/4 \times 0.270$ $- 0.20^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.90$	m3	0.16
型 枠	$0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.90$	m2	0.28
モルタル上塗工	$0.90^2 \times \pi/4 - 0.20 \times 0.90$ $+ 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.90$	m2	0.74
基礎工（面積）	1.10×1.10	m2	1.21
基礎工（体積）	1.21×0.20	m3	0.24

§2. 推　進　工　法

2-1　小口径管推進工集計表

No.

小口径管推進工集計表　鋼製さや管ボーリング式（一重ケーシング方式）

取付管推進工

工種	規格	取付-1桝 ⇒ 本管	取付-2桝 ⇒ 本管	取付-3桝 ⇒No.2人孔		単位	合計
小口径推進工法 鋼製さや管方式	ボーリング式一重ケーシング方式 SPφ250	1	1	1		箇所	3
区間距離		4.68	5.00	5.88		m	15.56
管体延長	VUφ150	4.28	4.59	5.28		m	14.15
推進延長	SPφ250	3.54	3.86	4.66		m	12.06
	土質区分	粘性土 ～ 砂質土	粘性土 ～ 砂質土	粘性土 ～ 砂質土			
材 料	塩ビ管 ℓ=1.00m/本 VUφ150	5	5	6		本	16
	カラー VUφ150	4	4	5		本	13
	スペーサー VUφ150	4	4	5		個	13
	鋼管 ℓ=0.45m/本 SPφ250	8	9	11		本	28
	メタルクラウン 呼び径φ250	1	1	1		個	3
推進工	鋼管推進工 SPφ250	3.54	3.86	4.66		m	12.06
	塩ビ管挿入工 VUφ150	3.54	3.86	4.66		m	12.06
	中込め注入工 VUφ150-SPφ250	0.11	0.12	0.14		m^3	0.36
	発生土処分工	0.20	0.22	0.26		m^3	0.68
仮設備工	坑口工(軽量鋼矢板)	1	1	1		箇所	3
	坑口工(ケーシング)	－	－	－		箇所	－
	鏡切工(軽量鋼矢板)	1	1	1		箇所	3
	鏡切工(ケーシング)	－	－	－		箇所	－
	推進設備工	1	1	1		箇所	3
	人孔到達工	－	－	－		箇所	－
	推進設備等据換工	－	－	－		箇所	－
	中込注入設備工	1	1	1		箇所	3

2-2　取　付　管　推　進　工
（鋼製さや管ボーリング方式）

鋼製さや管方式 ボーリング方式 一重ケーシング式 推進工法　材料計算書

ＳＰφ250　　管推進工　　発進立坑 1332×1332

路線番号	人孔番号	人孔種別	区間距離 A	管減長 B 下流側	管減長 B 上流側	管体延長 C=A-B	推進減長 D 下流側	推進減長 D 上流側	推進延長 E=A-D	空伏（管布設工） F=D-B	空伏基礎減長G 下流側	空伏基礎減長G 上流側	空伏基礎延長 H=D-G	管本数 I＝C÷L 鋼管 φ250 L＝0.45	管本数 ＶＵ管（接着） L＝1.00	管本数 カラー φ150 @1.00	管本数 スペーサー φ150 @1.00	仮設備工 坑口工	仮設備工 鏡切り 到達	仮設備工 推進設備工	仮設備工 既設人孔到達	仮設備工 推進設備工 据換等	仮設備工 中込注入設備工入	塩ビ管挿入工	中込注入工	残土量	メタルクラウン	摘要
	下流側 上流側	下流側 上流側	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	本	本	個	個	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	m	m3	m3	個	
取付-1	本管 1-桝	VU200 φ300桝	4.68	0.25	0.15	4.28	0.48	0.66	3.54	立坑にて計上				8	5	4	4	1	1	1			1	3.54	0.11	0.20	1	
取付-2	本管 2-桝	VU200 φ300桝	5.00	0.26	0.15	4.59	0.48	0.66	3.86	立坑にて計上				9	5	4	4	1	1	1			1	3.86	0.12	0.22	1	
取付-3	No.2 3-桝	組1号 φ300桝	5.88	0.45	0.15	5.28	0.53	0.69	4.66	立坑にて計上				11	6	5	5	1	1	1			1	4.66	0.14	0.26	1	
計			15.56			14.15			12.06					28	16	13	13	3	3	3			3	12.06	0.36	0.68	3	

概略図

管　残　土　表

VU管 (mm)	鋼管外径 (mm)	鋼管管厚 (mm)	中込め注入量 (m3/m)	残土量 (m3/m)	
φ150 (164)	267.4	6.6	0.03	0.056	
φ200 (214)					
φ250 (266)					
φ300 (318)					
φ350 (370)					
φ400 (420)					
φ450 (470)					

2-3　取付管推進立坑集計表
（軽量鋼矢板建込）

No.

取付管推進立坑(軽量鋼矢板建込)集計表

工種	規格	取付-1	取付-2	取付-3			単位	数量
舗装版撤去工								
舗装切断工	As t=5cm	1.05	4.11				m	5.16
	Co t=5cm	2.10		5.48			m	7.58
舗装取壊し工	As t=5cm		1.90				m^2	1.90
	Co t=5cm	1.00		1.90			m^2	2.90
残塊処分工	As		0.10				m^3	0.10
	Co	0.05		0.10			m^3	0.15
土　　工								
機械掘削		4.01	4.15	4.17			m^3	12.33
埋戻	砂	0.78	0.78	0.78			m^3	2.34
	砕石	2.93	2.77	2.96			m^3	8.66
発生土処分		4.01	4.15	4.17			m^3	12.33
土 留 工								
土留工	軽量鋼矢板(複列) L=3.00m	2.66	2.66	2.66			m	7.98
支保工	2段	2.66	2.66	2.66			m	7.98
矢板全損	軽量鋼矢板 L=3.00m	2	2	2			枚	6
スクラップ		0.215	0.215	0.215			t	0.645
鏡切工		1.15	1.15	1.15				3.45
管布設工	VUφ150	0.99	0.99	0.95			m	2.93
舗装本復旧工								
アスファルト舗装 表層工	As t=5cm		1.80				m^2	1.80
上層路盤工	RM-30 t=10cm		1.80				m^2	1.80
下層路盤工	RC-40 t=15cm		1.80				m^2	1.80
コンクリート舗装 表層工	Co t=5cm	0.90		1.80			m^2	2.70
路盤工	RC-40 t=15cm	0.90		1.80			m^2	2.70

2-4　取付管推進　発進立坑

取付管推進　発進立坑工 【取付-1　汚水桝】

工　　種	算　　式	単位	数　量
立坑築造工	A=　1.332 × 1.332 = 1.774		
アルミ矢板建込	(0.333×4枚=1.332)		
舗装版撤去工			
	付帯構図参照		
舗装切断工			
As t=5cm	1.050 = 1.050	m	1.05
Co t=5cm	1.120 ＋ 0.980 = 2.100	m	2.10
舗装取壊し工			
Co t=5cm	A = 1.000	m^2	1.00
残塊処分			
Co t=5cm	1.00 × 0.05	m^3	0.05
	取付管推進工詳細図(1)参照		
立坑掘削工	立坑深　舗装厚　立坑面積		
BH-0.2	(2.385 － 0.05) × 1.774 = 4.142		
	PU-150　PU-180		
(控除土量)	-(0.210 × 0.215 × 0.99 ＋ 0.250 × 0.250		
	PU-240		
	× 0.28 ＋ 0.250 × 0.250 × 1.09 = -0.130		
計		m^3	4.01
埋戻工			
	取付管推進工詳細図(1)参照		
砂埋戻	埋戻高　立坑面積		
	0.464 × 1.774 = 0.823		
	汚水桝(φ300)		
(控除土量)	π/4 × 0.318 ^2× 0.464 = -0.037		
	取付管(φ150)　(1.332/2-0.318/2)		
	π/4 × 0.164 ^2× (0.666 － 0.159) = -0.011		
計	= 0.775	m^3	0.78

工　　種	算　　式	単位	数　量
砕石埋戻	埋戻高		
	0.178 ＋ 1.543 = 1.721		
	埋戻高　立坑面積		
	1.721 × 1.774 = 3.053		
	汚水桝(φ300)		
(控除土量)	π/4 × 0.318 ^2× 1.543 = -0.123		
計	= 2.930	m^3	2.93
発生土処分工			
		m^3	4.01
土留工	矢板長= 3.00　支保工= 2 段		
アルミ矢板	L 1.332 ×4×1/2 = 2.664	m	2.66
支保工	2.664	m	2.66
土留材	軽量鋼矢板 L=3.0m		
単位重量(1枚当り)	W= 107.4 kg/枚		
	軽量鋼矢板 L=3.0m : 2 枚		
全損・スクラップ	107.4 kg/枚 × 2 = 214.80	t	0.215
鏡切り	π×(0.267 ＋0.100) = 1.153	m	1.15
管布設工	立坑内　本管掘削内		
VU150	0.666 － 0.150 ＋ 0.950 × 1/2 = 0.991	m	0.99
舗装本復旧工	付帯構図参照		
表層: Co t=5cm	0.90	m^2	0.90
路盤: RC-40 t=15cm	0.90	m^2	0.90

取付管推進　発進立坑工 【取付-2　汚水桝】

工　　種	算　　式	単位	数　量
立坑築造工	A=　1.332 × 1.332 = 1.774		
アルミ矢板建込	(0.333×4枚=1.332)		
舗装版撤去工			
	付帯構図参照		
舗装切断工			
As t=5cm	1.370 ＋ 1.370 ＋ 1.370 = 4.110	m	4.11
舗装取壊し工			
As t=5cm	A = 1.900	m^2	1.90
残塊処分			
As t=5cm	1.90 × 0.05	m^3	0.10
	取付管推進工詳細図(2)参照		
立坑掘削工	立坑深　舗装厚　立坑面積		
BH-0.2	(2.390 － 0.05) × 1.774 = 4.151	m^3	4.15
埋戻工			
砂埋戻	埋戻高　立坑面積		
	0.464 × 1.774 = 0.823		
	汚水桝(φ300)		
(控除土量)	π/4 × 0.318 ^2× 0.464 = -0.037		
	取付管(φ150)　(1.332/2-0.318/2)		
	π/4 × 0.164 ^2× (0.666 － 0.159) = -0.011		
計	= 0.775	m^3	0.78
砕石埋戻	埋戻高		
	0.183 ＋ 1.443 = 1.626		
	埋戻高　立坑面積		
	1.626 × 1.774 = 2.885		
	汚水桝(φ300)		
(控除土量)	π/4 × 0.318 ^2× 1.443 = -0.115		
計	= 2.770	m^3	2.77
発生土処分			
		m^3	4.15

工　　種	算　　式	単位	数　量
土留工	矢板長=　3.00　支保工=　2　段		
アルミ矢板	L 1.332 ×4×1/2 = 2.664	m	2.66
支保工	2.664	m	2.66
土留材	軽量鋼矢板 L=3.0m		
単位重量(1枚当り)	W= 107.4 kg/枚		
	軽量鋼矢板 L=3.0m : 2 枚		
全損・スクラップ	107.4 kg/枚 × 2 = 214.80	t	0.215
鏡切り	π ×(0.267 + 0.100) = 1.153	m	1.15
管布設工	立坑内　本管掘削内		
VU150	0.666 － 0.150 ＋ 0.950 × 1/2 = 0.991	m	0.99
舗装本復旧工	付帯構図参照		
表層: As t=5cm	1.80	m^2	1.80
上層路盤: RM-30 t=10cm	1.80	m^2	1.80
下層路盤: RC-40 t=15cm	1.80	m^2	1.80

取付管推進　発進立坑工 【取付-3　汚水桝】

工　　種	算　　式	単位	数　量
立坑築造工	A=　1.332 × 1.332 = 1.774		
アルミ矢板建込	(0.333×4枚=1.332)		
舗装版撤去工			
	付帯構図参照		
舗装切断工			
Co t=5cm	2.740 ＋ 2.740 = 5.480	m	5.48
舗装取壊し工			
Co t=5cm	A = 1.900	m^2	1.90
残塊処分			
Co t=5cm	1.90 × 0.05	m^3	0.10
	取付管推進工詳細図(3)参照		
立坑掘削工	立坑深　舗装厚　立坑面積		
BH-0.2	(2.402 － 0.05) × 1.774 = 4.172	m^3	4.17
埋戻工			
砂埋戻	埋戻高　立坑面積		
	0.464 × 1.774 = 0.823		
	汚水桝(φ300)		
(控除土量)	π/4 × 0.318 ^2× 0.464 = -0.037		
	取付管(φ150)　(1.332/2-0.318/2)		
	π/4 × 0.164 ^2× (0.666 － 0.159) = -0.011		
計	= 0.775	m^3	0.78
砕石埋戻	埋戻高		
	0.195 ＋ 1.543 = 1.738		
	埋戻高　立坑面積		
	1.738 × 1.774 = 3.083		
	汚水桝(φ300)		
(控除土量)	π/4 × 0.318 ^2× 1.543 = -0.123		
計	= 2.960	m^3	2.96
発生土処分			
		m^3	4.17

工　　種	算　　式	単位	数　量
土留工	矢板長=　3.00　支保工=　2　段		
アルミ矢板	L 1.332 ×4×1/2 = 2.664	m	2.66
支保工	2.664	m	2.66
土留材	軽量鋼矢板 L=3.0m		
単位重量(1枚当り)	W= 107.4 kg/枚		
	軽量鋼矢板 L=3.0m : 2 枚		
全損・スクラップ	107.4 kg/枚 × 2 = 214.80	t	0.215
鏡切り	π ×(0.267 + 0.100) = 1.153	m	1.15
管布設工	立坑内　人孔掘削内		
VU150	0.690 － 0.150 ＋ 0.860 － 0.450 = 0.950	m	0.95
舗装本復旧工	付帯構図参照		
表層: Co t=5cm	1.80	m^2	1.80
路盤: RC-40 t=15cm	1.80	m^2	1.80

2-5　付　帯　工

No.

付 帯 工 集 計 表

工種	規格	取付-1	取付-2	取付-3		単位	合計
コンクリート取壊し工	無筋コンクリート	0.015				m^3	0.02
	有筋コンクリート	0.065				m^3	0.07
残塊処分工	無筋コンクリート	0.015				m^3	0.02
	有筋コンクリート	0.065				m^3	0.07
側溝復旧工	PU-150	1.0				m	1.0
	PU-180	0.3				m	0.3
	PU-240	1.1				m	1.1
路面標示工	白色 実線 (W=20cm) 停止線 換算W=15cm		1.8			m	1.8

付　帯　工　調　書

単独事業

種　　別	形状寸法	計　　算　　式	単位	数　　量
＜　取付-1　＞				
側溝撤去工	PU-150	付帯工図より 0.99	m	1.0
	PU-180	0.28	m	0.3
	PU-240	1.09	m	1.1
ｺﾝｸﾘｰﾄ取壊し工 無筋　敷モルタル	PU-150	材料計算書より 0.048 × 1/10 × 0.99	m^3	0.005
	PU-180	0.057 × 1/10 × 0.28	m^3	0.002
	PU-240	0.072 × 1/10 × 1.09	m^3	0.008
	合計		m^3	0.015
残塊処分工	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.015	m^3	0.015
	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	PU-150 0.170 × 1/10 × 0.99	m^3	0.017
		PU-180 0.240 × 1/10 × 0.28	m^3	0.007
		PU-240 0.380 × 1/10 × 1.09	m^3	0.041
	有筋合計		m^3	0.065
側溝復旧工	PU-150	0.99	m	1.0
	PU-180	0.28	m	0.3
	PU-240	1.09	m	1.1
＜　取付-2　＞				
路面標示工 停止線	白色　実線 換算 W=15cm	1.83	m	1.8

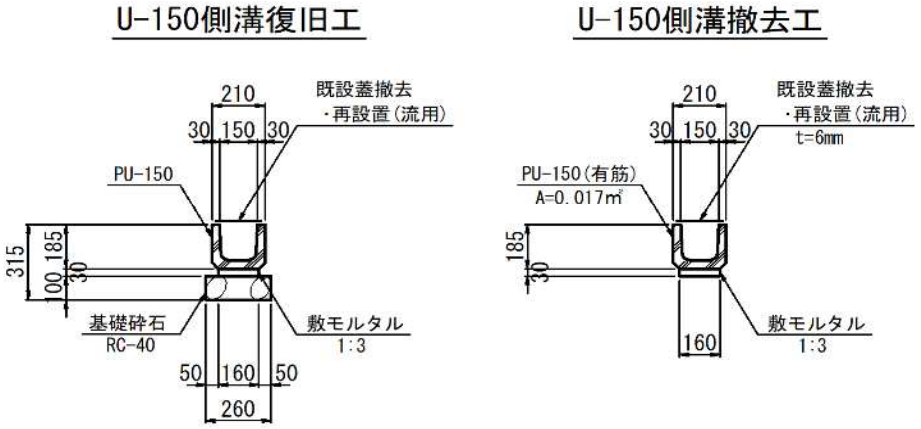
2-6　積　算　資　料

材　料　計　算　書

計算書　ＮＯ.

算　式　根　拠　と　な　る　構　造　図

名称： U-150側溝撤去・復旧工　　Ｓ：



10.0　m当りに付計算

名称	規格	算　　式	単位	数量
土　工				
		立坑築造に含む。	m3	ー
側溝撤去工				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝				
	PU-150 有筋	10.0	m	10.000
ｺﾝｸﾘｰﾄ取壊	敷モルタル			
	無筋	0.160×0.030×10.0	m3	0.048
残塊処分				
	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.017×10.0	m3	0.170
	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.160×0.030×10.0	m3	0.048
側溝復旧工				
基礎砕石				
	RC-40　t=100mm	0.260×10.0	m2	2.600
敷モルタル				
	1:3　t=30mm	0.160×0.030×10.0	m3	0.048
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝				
	PU-150 L=600mm	0.605/10.0	個	0.061
既設蓋	B=210			
	流用品 t=6mm	10.0	m	10.000

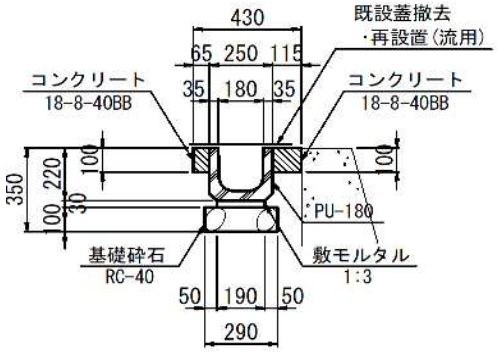
材　料　計　算　書

計算書　ＮＯ.

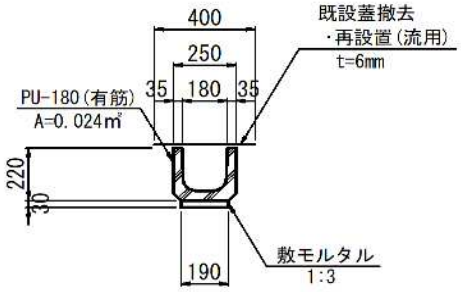
算　式　根　拠　と　な　る　構　造　図

名称： U-180側溝撤去・復旧工　　Ｓ：

U-180側溝復旧工



U-180側溝撤去工



10.0　m当りに付計算

名称	規格	算　　式	単位	数量
土　工				
		立坑築造に含む。	m3	ー
側溝撤去工				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝				
	PU-180 有筋	10.0	m	10.000
ｺﾝｸﾘｰﾄ取壊	敷モルタル			
	無筋	0.190×0.030×10.0	m3	0.057
残塊処分				
	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.024×10.0	m3	0.240
	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.190×0.030×10.0	m3	0.057
側溝復旧工				
基礎砕石				
	RC-40　t=100mm	0.290×10.0	m2	2.900
型　枠				
	1:3　t=30mm	0.100×10.0	m3	1.000
コンクリート				
	18-8-40BB	(0.065+0.115)×0.100×10.0	m3	0.180
敷モルタル				
	1:3　t=30mm	0.190×0.030×10.0	m3	0.057
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝				
	PU-180 L=600mm	0.605/10.0	個	0.061
既設蓋	B=400			
	流用品 t=6mm	10.0	m	10.000

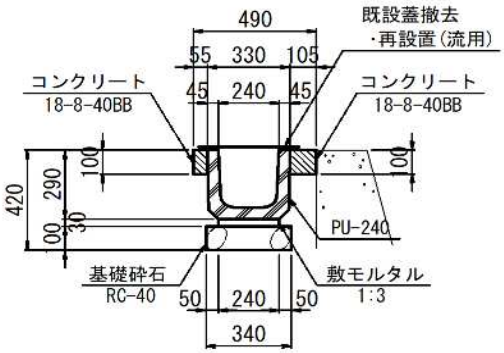
材　料　計　算　書

計算書　ＮＯ.

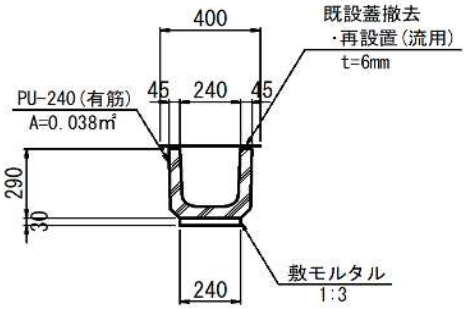
算　式　根　拠　と　な　る　構　造　図

名称： U-240側溝撤去・復旧工　　Ｓ：

U-240側溝復旧工



U-240側溝撤去工



10.0　m当りに付計算

名称	規格	算　　式	単位	数量
土　工				
		立坑築造に含む。	m3	ー
側溝撤去工				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝				
	PU-240 有筋	10.0	m	10.000
ｺﾝｸﾘｰﾄ取壊	敷モルタル			
	無筋	0.240×0.030×10.0	m3	0.072
残塊処分				
	有筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.038×10.0	m3	0.380
	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	0.240×0.030×10.0	m3	0.072
側溝復旧工				
基礎砕石				
	RC-40　t=100mm	0.340×10.0	m2	3.400
型　枠				
	1:3　t=30mm	0.100×10.0	m3	1.000
コンクリート				
	18-8-40BB	(0.055+0.105)×0.100×10.0	m3	0.160
敷モルタル				
	1:3　t=30mm	0.240×0.030×10.0	m3	0.072
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ側溝				
	PU-240 L=600mm	0.605/10.0	個	0.061
既設蓋	B=400			
	流用品 t=6mm	10.0	m	10.000